

事務事業名	母子保健推進事業				マニフェスト 関連	全庁横断 課題関連	集中改革 プラン関連
総合 計画 体系	政策	2	福祉の健康		所属部	健康福祉部	課長名 坂井 晴代
	施策	5	健康づくりの推進		所属課	健康づくり推進課	担当者名 坂本 みゆき
	施策の柱	19	病気になるらない生活習慣の確立		所属班	健康推進班	(内線) 1633
予算科目	会計 一般	款 4	項 1	目 6	事業連番 10358	根拠 法令	母子保健法
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 3年度で終了 <input type="checkbox"/> 3年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度)	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	乳幼児健診(4ヵ月、7ヵ月、1歳6ヵ月、3歳児健診)を実施し、乳幼児の健康の保持・増進を行なう。対象者へは、個人通知をしている。内容は、問診・身体計測・内科健診・歯科健診・栄養相談・歯科相談・保健相談、健診後のフォロー・未受診者のフォロー等。昭和40年公布された母子保健法の施行により、乳幼児の健康の保持・増進を図るために開始した。出生数の増加に伴い対象者数が年々増加しており、健診1回あたりの対象者数が多く、待ち時間が長くなっている。また専門スタッフの確保も難しくなっている。市町村保健師での情報交換や勉強会を実施しており、保健師としての質の向上に努めている。
【業務の流れ】	健診スタッフ(医師・歯科医師・看護師・保健師・助産師・歯科衛生士・管理栄養士)の確保及び覚書・臨時任用通知書を作成し、契約を結ぶ。年間出勤予定表を調整し作成、場所の確保を行なう。健診対象者名簿を打ち出し、対象者へ通知を郵送。日程はすこやかカレンダー・広報に掲載し周知を図る。健診会場の準備。健診材料の発注及び支払い事務。健診を実施し、終了後ミーティングを行なう。健診スタッフへの支払い事務。健診結果入力及び、要フォロー者・未受診者への連絡。
【主な予算費目】	報酬、賃金、報償費、旅費、需用費、委託料、役務費、負担金補助及び交付金
【意見や要望】	話を聞いてもらい、アドバイスを受け不安が解消された、安心できた。新型コロナウイルス感染拡大に伴い集団健診に行くことに不安を感じるのと市民の声がある。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 3年度実績(3年度に行った主な活動)(DO)	母子保健法に基づき、乳幼児健診を実施した。今年度は、新型コロナウイルス感染症対策として受付時間を3つに分け、一部内容を省略して実施した。また、育児相談及びカミング教室は感染症防止対策をとりながら実施した。	4年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 人 ア: 健診受診者数 イ: 回数	予算の主な増減の理由 4ヵ月児健診の個別健診委託による委託料の増
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 合志市民該当児	(単位) 人 ア: 健診対象者数	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 健康を保持し、健やかに発育発達できる。	(単位) % ア: 健診受診率	
*③成果指標設定の理由と 4年度目標値設定の根拠 健診を受診することで、乳幼児の健康の増進を図ることになり、本事業の意図へとつながるため成果の指標とする。健診を受けられる体制を維持し、受診率が低下しないよう働きかけていく必要がある。		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

各指標・総事業費の推移	単位	31年度	2年度	3年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込	
① 活動指標	人	2,481	2,426	2,500	2,642	2,550	2,600	2,650	2,700	
	回	86	81	96	64	72	72	72	72	
② 対象指標	人	2,626	2,371	2,500	2,705	2,550	2,600	2,650	2,650	
	イ									
③ 成果指標	%	94.5	97.7	98	97.6	98	98	98	98	
	イ									
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円	880	747	754	1,510	1,462	1,462	1,462
		都道府県支出金	千円		351	811	382	440	440	440
		地方債	千円							
		その他	千円	18		30	18	30	30	30
		繰入金	千円							
	一般財源	千円	23,140	19,645	20,785	20,120	24,140	22,848	22,848	22,848
		(A) 事業費計	千円	24,038	20,743	22,380	22,030	26,072	24,780	24,780
		(A)のうち指定経費	千円	13,469	9,324	9,330	9,298	9,512	12,183	12,183
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	11	9	11	10	11	11	11
延べ業務時間		時間	2,000	1,775	2,500	3,357	2,500	2,500	2,500	
(B)人件費計		千円	7,926	6,998	9,960	13,125	9,960	9,960	9,960	
トータルコスト(A)+(B)	千円	31,964	27,741	32,340	35,155	36,032	34,740	34,740	34,740	

事務事業名	母子保健推進事業	所属部	健康福祉部	所属課	健康づくり推進課
-------	----------	-----	-------	-----	----------

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は3年度の事後評価、ただし複数年度事業は3年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 3年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 受診率の目標98%に達成しなかった。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により臨時休園等による健診欠席者が遅れて受診している傾向があり、今後受診者は増える見込みである。現在、各種指導を省略して実施しているため、感染状況を見ながら各種指導の再開や実施方法の見直しが必要である。
	② 4年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 乳幼児健診及び育児相談・栄養教室の会場における感染対策を徹底することで、対象者が安心して来所できるような体制を構築する。併せて、未受診者には電話・訪問等で受診勧奨を行なう。
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 次年度も感染対策と事業内容の見直しを行なうことで、受診者・利用者へ有益な事業となるよう努める。また、臨時休園等による受診控えや集団健診会場へ行くことの保護者の不安もあり、適正な時期に安心して受診できるよう4カ月児健診の体制整備を行なう。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 専門的な事業であり、類似事業がないため統廃合はできない。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 必要最低限の事業費で行っている。
	⑥ 人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 必要最低限の専門職と職員で行っている。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 母子保健法により自治体に健診実施が義務付けされている。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 生活・家庭に密着したライフスタイルの視点のもと地域に根ざした関わりが必要なため、適正である。

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

今年度はコロナ渦においても感染防止対策を行ない、事業を継続することができた。今後は安心して適正な時期に健診を受診でき、異常の早期発見・早期治療につなげられるよう、4カ月児健診の個別健診委託の体制整備が必要である。また、現在感染対策のために各種指導を省略して実施しているため、感染状況に応じて健診内容の見直しも必要である。

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			○	維持			△	低下			×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上			○																		
	維持			△																		
	低下			×																		
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策 乳幼児数の増加に伴い、乳幼児健診体制の見直しが必要である。4～5カ月児健診を個別健診とし、受診しやすい体制が評価を行う。また、乳幼児健診の医師の確保のため、継続して、健診体制の見直しを行う。																						